

こんにちは

日本共産党

横浜市議団です

日本共産党
横浜市議員団
2009. 4. 22号
横浜市中区港町1-1(市庁舎内)
電話 671-3032 FAX 641-7100
E-mail: info@jcp-yokohama.com
http://www.jcp-yokohama.com/

ハローワーク鶴見が閉鎖

「こんなときに閉鎖なんて！」再開を

派遣切り、雇い止め、正社員の首切り…雇用不安が大きく広がっているなか、政府は行政改革の一環として3月末にハローワーク等の大規模な組織再編を断行。全国で15のハローワーク・出張所が統廃合され、県内ではハローワーク鶴見が閉鎖、川崎に統合されました。

その結果、ハローワーク川崎では、職を求め人が増え、毎日新聞では「6日は最多で153人待ち。仕事量は1.8倍に増えた。『鶴見を復活して』との抗議の投書が来ている」と窓口職員の声を紹介しています(4月10日付)。



同報道によれば、ハローワーク鶴見では今年2月新規求職者だけで889人、有効求職者数は3276人で、パートも含めると月に約5000人

が利用していたということです。

日本共産党の中島文雄市議員は、今年2月の予算代表質問で、「以前の150～200%の来所者で、こんな時に閉鎖なんて、私個人としては怒りさえ覚える」というハローワーク鶴見の担当職員の声を紹介し、政府に閉鎖計画の凍結・延期を緊急に要請すべきと市長に要求しました。中田市長は、統合にあたってサービス水準が低下しないよう申し入れており、統廃合はすでに決定していることと答えました。

日本共産党横浜市議団は、党国会議員団などとともにハローワーク鶴見と鶴屋町出張所の廃止計画を撤回させるよう政府に働きかけることを昨年1月横浜市長に要請し、党として政府に対して廃止計画の中止を求めてきました。

横浜しごと支援センター

労働・就業電話相談、無料延長

横浜市は、横浜しごと支援センター(横浜市技能文化会館3階、中区万代町)で4月1日から限定2週間の予定で実施していた無料の労働・就業に関する電話相談を今月30日まで延長しました。

しごと支援センターでは、3月末に予想された解雇・雇い止めの大量発生に備えて、料金無料のフリーダイヤルによる電話相談を開始。4月1～13日の相談件数は36件。通常での相談件数を加えると107件で、半月で昨年4月の電話相談数135件に近づいています。

主な相談内容は解雇や就労、賃金・手当など、日曜祝日を除く午前9時～午後5時、フリーダイヤルは0120-620-799です。

かながわ「派遣村」

とき 4月30日(木)14～21時
5月1日(金)10～15時
ところ 横浜公園
(横浜スタジアムとなり)

○相談内容 労働・雇用・生活保護・年金・子育て・教育・税金・営業・医療・健康

弁護士、司法書士、医師等が相談に応じます。

☆日本共産党横浜市議団も参加します☆

○炊き出しあります(4/30夕方、5/1昼)

○農産物の直売もあります。

○主催 かながわ「派遣村」in横浜公園実行委員会、反貧困ネットワーク神奈川、第80回神奈川県メーデー実行委員会 問合せ045-212-5855